



みやかわ

会津美里町立宮川小学校
2020年度学校だよりNo.15
令和2年10月29日

みやかわまつり



10月17日(土)に「みやかわまつり」を行いました。今年度の「みやかわまつり」は全校生と演じる学年の保護者のみで観賞するスタイルにしました。

保護者の皆様には、移動が伴いご迷惑をおかけしました。ただ、子どもたちの健康を優先させて、無事に実施できたのはご協力いただいたおかげと感謝申し上げます。また、昇降口での検温作業や、駐車場整理など影で支えてくださったPTA会員の皆様にも御礼申し上げます。

どの学年も、それぞれ学習してきたことを生かしての表現活動でした。あくまでも学習の発表でという位置づけて先生方にはおねがいをしました。臨時休校もあり、学校で学ぶべきことをしっかりと身につけさせることを優先しました。ですから、「みやかわまつり」のために特別に新しいことをするわけにはいきません。いままでの学習のまとめとしての位置づけです。かつての「学芸会」のようなことをすることが「みやかわまつり」の目標ではありません。その意味で、ことしの「みやかわまつり」はいい学習の成果が表現できたように思います。



なお、みやかわまつりについての感想等がありましたら、下の用紙に記入して担任をとおして校長までご提出ください。次回の学校だよりで紹介したいと思います。

----- き ----- り ----- と ----- り -----

みやかわまつりの感想

年 組 児童氏名

体験活動をととして

残念ながら、今年度はいろいろな体験的活動ができませんでした。大きな学校行事である運動会をはじめとして、水泳記録会、芸術鑑賞教室、児童会活動としての1年生を迎える会など、全校生が関わるようなものについては一切行いませんでした。

ただ、2学期以降は、学年でできるようなことについては実施してきました。

2年生は、サツマイモの収穫をしました。苗植えについては、体験農場の方をお願いしたのですが、収穫は2年生が直接行って芋掘りをしました。



3年生は、同じく体験農場で大豆を栽培しました。これも収穫作業に行き、これから脱穀、選別を経ていきます。

4年生は、ケナフを育てました。刈り取ったケナフを細かく砕いて、ケナフ協会の方に持って行っていただきました。煮て柔らかくした後に、さらに叩く作業

が待っています。その後、いよいよ紙すきとなる予定です。

5年生は、米づくりをしたのですが、天候の関係で稲刈り体験ができませんでした。できあがったお米はすでに学校に届いています。これから餅米を使って何にするのか計画を立てます。



それぞれの学年で、様々な体験活動を行っています。見学学習も含めて、少しずつ実施できるようにしていきたいと思っています。

体験することで、実感の伴う学習になります。単なる知識・技能ではなくそれらは使える知識・技能です。ですから学ぶ価値が格段と上がります。

成功体験だけでなく、失敗体験も含めてたくさんの経験を積ませたいと思います。「やっても結果が出ない」「結果を出さなければ、認めてもらえない」と子どもが思ってしまうと、失敗を恐れてチャレンジしなくなってしまいます。

本当の失敗は、何にもチャレンジしないことです。

成功と失敗があるわけではなく、失敗体験から学べば失敗も成功に様変わりします。そのくらいの気持ちでチャレンジさせたいものです。

